

医療情報部

1 スタッフ（2023年12月1日現在）

部長（教授）（兼） 森下 義幸

【診療情報管理室】

室長（兼） 落合 浩
（事務部副部長）

事務 9名

【システム運用管理室】

室長 大谷 義昭
事務 10名

年度	2020	2021	2022	2023
承認率	97.9	97.5	98.8	98.6

・カルテ開示は、261件の開示を行った。

年度	2021	2022	2023
開示件数	221	226	261

・院内がん登録は、3,030症例を登録し、全国集計へ提出した。（2023年症例）

症例年	2021	2022*	2023
登録件数	3,032	3,113	3,030

*2024年7月時点

・退院前DPCの検証率は、5月以降90%以上を維持し、2023年度は91.5%となった。

（システム運用管理室）

主な導入システム

- ・検体／細菌検査部門システム更新
- ・輸血システム一部更新
- ・ランサムウェア対策（テープ外部保存）
- ・電子カルテ無停電装置の更新

2 診療部の特徴

医療情報部は中央診療部の1部門として、2009（平成21）年4月に発足した。

診療情報管理室とシステム運用管理室があり、診療情報管理室は、診療情報管理士による退院前DPC検証、DPC導入の影響評価に係る調査、院内がん登録、紙媒体記録の管理、診療情報統計作成、カルテ開示等を行っている。

システム運用管理室は、主に電子カルテシステム（COSMOS）の運用・管理を行っている。

・認定資格者

診療情報管理士 8名

医療情報技師 7名

3 実績・クリニカルインディケーター

2023年に実施した医療情報部の主な活動内容・実績は下記のとおりである。

（診療情報管理室）

- ・退院時要約の退院後14日以内承認率は毎月97%以上を維持した。

4 部門ごとの事業計画・目標の達成度、来年の目標等

診療情報管理室では、退院前DPC検証業務を強化した結果、検証率91.5%、検証による診療報酬の適正化で約1億2900万円増となった。

今後は、センター内で使用されている説明書・同意書をはじめとする文書等の新システム移行を進める。また、当室で扱う診療情報等からセンターの活動に必要なデー

タの作成支援・提供の推進を図ること、更に診療情報管理士の業務スキル向上を目指した育成を進めていく。

システム運用管理室では、2023年度事業として計画、予算化された各種部門システムの更新を実施した。

栃木・さいたま合同にて病院情報システム更新（栃木：2023年度、さいたま：2024年度）を予定していて、2023年度は契約に従ってシステム導入事前のWG開催により運用の検討・マスタ準備など行った。2024年度については昨年までの検討結果を生かして新システムの導入し、業務効率化や安定稼働を目指したい。